

<p>鋳鉄と鋼鉄の違い</p>	
<p>圧延</p>	
<p>日本における鉄骨構造の着工床面積</p>	
<p>形鋼の種類と、使用される部分</p>	
<p>筋かい（ブレース）</p>	
<p>鉄骨部材の主な接合法 2 種類</p>	
<p>トラス</p>	
<p>ラーメン</p>	
<p>ピン接合と剛接合</p>	
<p>応力度</p>	
<p>ひずみ</p>	
<p>弾性</p>	

1. 建築鉄骨構造

塑性	
降伏	
引張強さ	
降伏比	
鋼材の応力度－ひずみ関係図	
高張力鋼と普通鋼の 応力度－ひずみ関係の違い	
座屈とはどういう現象か	
比重	

1. 建築鉄骨構造

比強度	
塑性変形能力	
脆性	
靱性	
鋼材が350℃になると	
耐火被覆	
金属疲労	
腐食	
プレハブ	
耐震要素	
CFT柱	
アンボンドブレース	

1. 建築鉄骨構造